

デコ活

くらしの中のエコろがけ

▲ロゴマークは一人ひとりの取り組みが地球を変える大きなうねりとなるバタフライエフェクトをイメージ

知っていますか？「デコ活」

「デコ活」とは、国の推進している「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称で、二酸化炭素（CO₂）を減らす（DE）脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（Eco）を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

脱炭素社会の実現に向け、ライフスタイルの分野においても大幅な二酸化炭素の削減が求められていますが、具体的な行動に結びついていない状況にあります。できることから「デコ活」を始めてみませんか。この特集のお問い合わせは、環境政策室☎421-6767へ

一人ひとりの取り組みが大切です

●CO₂排出量の約6割がライフスタイルに起因

国の二酸化炭素（CO₂）排出量の約6割は、衣・食・住・移動など、私たちが普段の生活の中で消費する製品・サービスのライフサイクル（製造・流通・使用・廃棄などの各段階）において生ずる温室効果ガスが占めており、「脱炭素」と「私たちの暮らし」は密接に関係しています。

●家庭部門の削減目標は66%

国は3年10月、5年ぶりに地球温暖化対策計画を改訂しました。同計画の中で、温室効果ガスの削減目標を「我が国の中期目標として、2030年度において、温室効果ガスを2013

年度から46%削減することを目指す。さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。」と定めています。

エネルギー起源CO₂の部門別の削減率では、産業部門で38%、業務その他部門で51%、運輸部門で35%、エネルギー転換部門で47%、家庭部門で66%削減としており、家庭部門で大きな削減を求められています。

●取り組みの現状

国が公表している資料によると、「『脱炭素』という言葉を知っている人は90.8%、行動に移している人は33.1%」、「脱炭素について若年層では、『よくわからない』、『意識・貢献できる瞬間がない』と回答した人が約6割」となっており、国民・消費者の9割が脱炭素

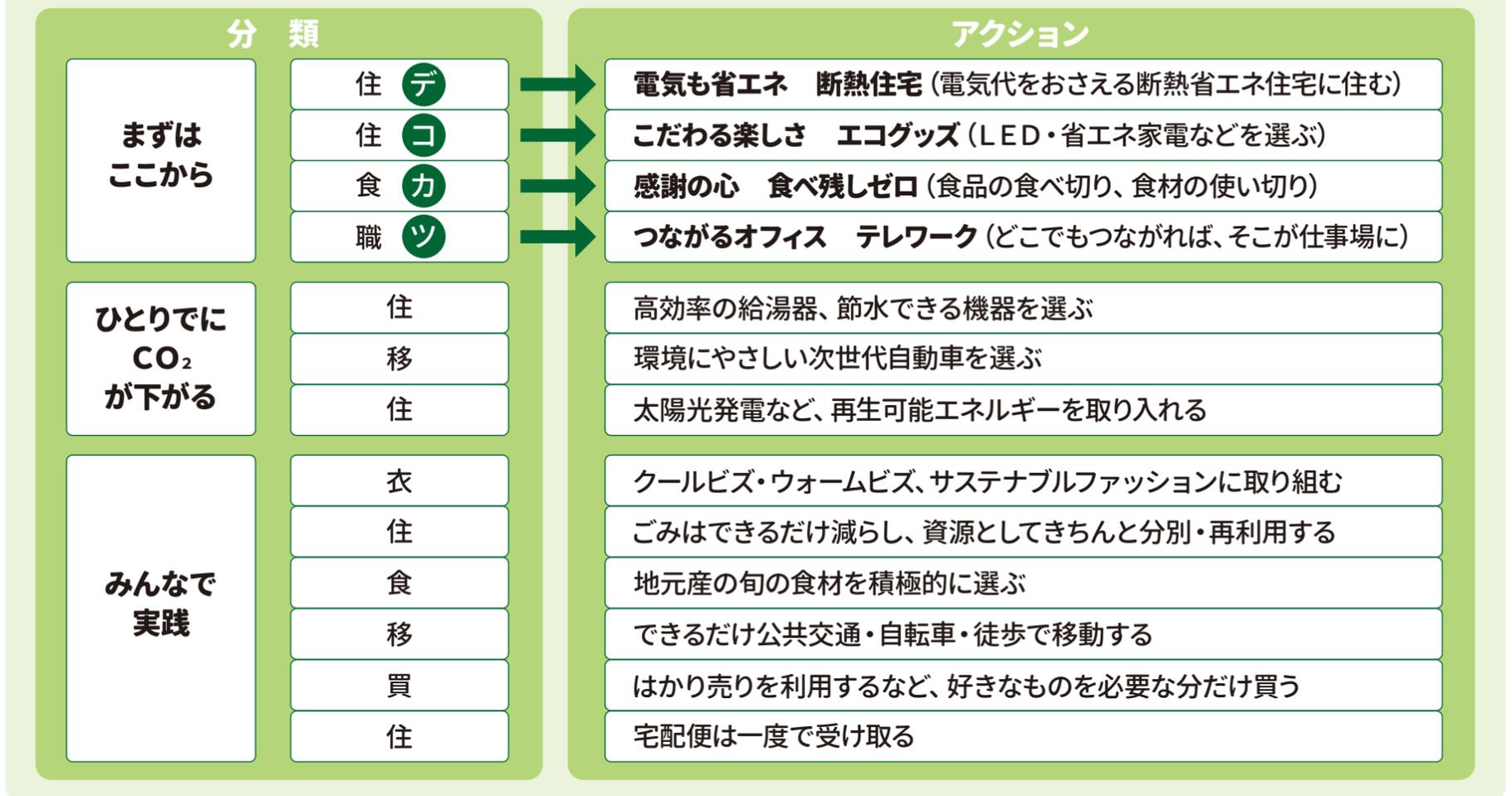
という用語を認知しているものの、一方でそのために何をしたらよいか分からないなど、具体的な行動に結びついていない状況にあります。

できることから始めましょう

このような現状を踏まえ、国は、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現に向けた国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新たな国民運動を開始しました。

この新たな国民運動の愛称を公募し、選定されたのが、二酸化炭素（CO₂）を減らす（DE）脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（Eco）を含む「デコ」と活動・生活を組

デコ活アクション



広告

広告